



天茶っ子

2025年4月8日(火)

天下茶屋小学校

校長 清原良一

入学、進級おめでとう

春らしいやわらかな日がさす季節となりました。天下茶屋小学校が105年目を迎えました。そして新1年生19名、全学年199名でいよいよ新しい年度の始まりです。みんな入学や進級したことに対する緊張感と新しい友達や先生との出会いに胸を膨らませていると思います。「安心安全な教育の推進」と「未来を切り開く学力・体力の向上」「学びを支える教育環境の充実」を大きな目標にして、教職員全員で力を合わせて頑張ってまいりたいと思います。保護者の皆様のご理解・ご協力とご支援をよろしくお願いします。

学校生活の基本は、

時を守り、場を清め、礼を正す

「時を守り」とは文字通り時間を守ることです。時間を守ることで待ち合わせの時間に相手を待たせないことになります。それにより自分の信用を積み重ねることができます。また期日の決められた提出物や約束などをきちんと守ることで、信頼をえることができます。

「場を清め」とは清掃することです。細かいところまで清掃を行う習慣をつけることで、気づく人になれます。また教室内や机の中を整理整頓することで、心も落ち着いてきます。清掃活動を通して、気持ちの良い学習の場所を作つてほしいと思います。

「礼を正す」とは礼儀正しくあいさつすることです。元気よくあいさつすることで自分自身の気持ちがよくなります。あいさつを通して信頼関係が生まれ、お友だちとうまくいきます。

総合的読解力育成について

昨年度の全国学力・学習状況調査(6年)、すぐくウォッチ(5・6年)、学力経年調査(3~6年)の結果ですが、残念ながら大阪市および全国平均を下回りました。子どもたちは、授業については、まじめにそして積極的に受けってくれました。しかし各テストの分析を行いますと、問題の文章そのものが理解できていなかったり、図やグラフなどの情報を正しく読み取れていないことが分かりました。本校では昨年度から「総合的読解力」育成のための取り組みを始めました。「総合的読解力」とは、情報を正しく読み取り要約することに加え、読み取ったものから考えを形成すること、さらにその考えを表現するとともに交流してその考えを広めたり深めたりすることです。また昨年度に引き続き、研究教科を体育科とし、授業だけでなく学校生活の中で運動やスポーツに取り組みます。